

講演大会記事

第80回講演大会

第80回講演大会は10月12日(月)、13日(火)、14日(水)の3日間鉄鋼短期大学(尼崎市)において開催され、ついで10月15日(木)見学会が行なわれた。

開会式

開会式は田畑新太郎日本鉄鋼協会専務理事司会のもと10月12日午前9時30分より講堂において行なわれた。初めに小田助男大会実行委員長(関西支部長)の歓迎の挨拶があり、ついで的場幸雄本会会長より次のような挨拶があつた。「実行委員各位のご尽力により関西地区で、第80回講演大会開催の運びとなつた。ご承知の通り本会では去る9月7日～11日に鉄鋼科学技術国際会議を開催した。36カ国よりの参加者があり、講演は招待、一般講演合わせ300余編にのぼり、盛会裡に終えることができた。この会議は今後も続けることが決定した。このように盛会であつたのもわが鉄鋼業の世界に類のない発展によるものと思われる。しかし、冷静に考えてみると、果たして先駆的仕事をわれわれはやつてきたであらうか。LD、CC、真空脱ガスなどみても海外において開発されたものである。今後わが国鉄鋼業がますます発展するには、技術開発力の格差を解消することであり、それには研究者、特に若い研究者に期待する。」

ヘンダーソン賞授与式

開会式につづき第2回ヘンダーソン賞の授与式が行なわれた。

受賞者(1976ページ参照)

渡辺 敏君 (科学技術庁金属材料技術研究所
熱処理研究室長)

荒木 透君 (東京大学工学部教授)

宮地 博文君 (科学技術庁金属材料技術研究所
研究員)

論文: オースフォームによる合金鋼の強化
(鉄と鋼, 55 (1969), p. 797～812)

講演大会

講演大会は製鉄、製鋼、加工、性質、分析の7会場に分かれ講演発表が行なわれた。講演発表は製鉄関係49件、製鋼関係73件、加工関係20件、性質関係134件と276件におよび各会場活況を呈した。

また上記講演会のほか、次のテーマによる討論会が開かれた。

- | | |
|-------------------------------|----------|
| 1) 高炉のコンピュータコントロールとそのための計測の問題 | 座長 館 充君 |
| 2) 複合脱酸 | 座長 草川隆次君 |
| 3) 圧延板の形状制御について | 座長 加藤健三君 |
| 4) 鋼の冶金的要因と被削性 | 座長 荒木 透君 |
| 5) 鉄鋼の格子欠陥 | 座長 橋口隆吉君 |
| 6) 薄板の成形性シンポジウム (金属学会と共催) | |

特別講演ならびに映画

10月12日午前10時より開会式、ヘンダーソン賞授与式に引き続き住友元夫本会副会長司会のもと次の特別講演ならびに映画が行なわれた。

特別講演

海洋開発についての技術的問題点

川崎重工業(株) 平野美木君

映画 「和鋼風土記」

懇親会

10月12日(月)午後6時より日本金属学会と合同で鉄鋼短期大学機械科棟製図室で行なわれた。講演会場と同じ場所であり、300人の参加者で賑わいを呈した。

見学会婦人見学会

講演大会最終の行事である見学会は好天に恵まれ、10月15日(木)、金属学会と合同で行なわれた。また婦人見学会が10月13日行なわれた。

- | | |
|----|---|
| 1班 | 三菱自動車工業(株)京都製作所
三谷伸銅(株)
有芳園西館(財・泉屋博古館収蔵庫) |
| 4班 | 住友金属工業(株)製鋼所
大阪製鋼(株)西島製造所
神鋼鋼線鋼索(株)本社工場 |
| 5班 | 新日本製鉄(株)堺製鉄所
日本伸銅(株) |
| 6班 | 住友電気工業(株)伊丹製作所
三菱電機(株)伊丹製作所通信機製作所 |
| 7班 | 住友金属工業(株)和歌山製鉄所 |
| 8班 | 川崎製鉄(株)計量器工場
川崎製鉄(株)葦合工場
川崎重工業(株)神戸工場 |
| 9班 | (株)神戸製鋼所高砂工場
(株)神戸製鋼所明石工場 |

婦人見学会 京都地区

なお、2、3班は都合により中止された。